

榮議員 牟岐町政百周年記念事業として「町政百年史（あゆみ）」を編纂し、発行されてはどうかということで、町長にお尋ねいたします。白菊、黄菊咲き匂う大正4年11月、いともかしこき大君の御即位式を記念して町制しきし牟岐の町、これは当時、牟岐町勢歌というようなことで、作詞は中西環さんという人がやって、20番ぐらいあるのですが、これは出だしの部分です。牟岐町は皆さんご存知のように大正四年、1915年11月10日に京都御所、紫宸殿で大正天皇の御即位の礼が行われました。その11月10日を記念して牟岐村から牟岐町となり、以来今年の11月10日で百周年を迎えることになります。この間、節目、節目には時の為政者が創意工夫をこらし、祝賀行事が行われてきましたが、今年は百周年を迎えることであり、記念行事も予定されていると聞いていますけれども、「牟岐町政百年史（あゆみ）」を編纂、発行し、後世に歴史を伝えることにしてはどうかということで、町長にご意向をお尋ねいたします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 榮議員のご質問にお答えいたします。牟岐町百年史の作成についてですが、現在の牟岐町史は、町政60周年を記念して作成され、1974年、昭和49年までの出来事が記載されています。この牟岐町史の編集には、榮議員も委員として参加され、大変なご苦勞をされたと聞いています。このように多くの労力と費用を要する町史の発刊は、役場の通常業務の他、防災や地方創生に多くの労力を要する中、現時点では、後に送りたい業務ではありますが、町村合併で全国的にも100年を迎える市町村が少ないことや前町史以降、これまでの40年間に昭和51年の豪雨災害、鬼ヶ岩屋温泉の建設、モラスコむぎの建設、海の総合文化センターの建設、小学校の合併移転等、多くの重要な出来事がありましたので、他に例を見ない牟岐町史を後世に伝えることは、100周年を迎える我々の使命でもあり、大切な作業であると認識し、前向きに発刊を検討し、百周年記念事業として取り組みたいと考えています。その節には、議員各位のご協力をどうかよろしくお願いいたします。

枅富議長 榮議員。

榮議員 只今、福井町長におかれましては、町の歴史というようなことを十分重要視するということなどで答弁いただきまして、ありがとうございます。どうぞ忙しいところですけど、これはすぐにはいきませんが、一応、１００年記念というようなことで一つ取り組んでいただければと思います。